統合小学校建設候補地意見集約票　意見一覧

■鞍手中学校敷地

相応しい点・評価した点

・一番実質負担額が少なくてすむ。
・小中一貫校として少子化が進む中で将来に渡り有効だと思う。
・広すぎるグランドは不要で、小学校と共用して土地活用できる。
・コストが安く済む。
・工事が安全に行える。
・立地・工事施工面・整備費安価等総合的として◎。計画においては敷地が狭小なので、校舎・施設などの配置計画を考慮する。また、グラウンドの利用は中学校と部活動との絡みがあり分離する必要がある。児童の敷地内道路横断は高架橋あるいは道路地下道も考えられる。
・建設や施設が、現在の土地にしっかり配置出来れば、場所的には一番良いと思います。

改善すべき点・懸念する点

・中学生との共有スペース etc、同じ敷地で異なる世代の子どもたちが過ごすことになるので、配慮が一番必要な建設地だと思います。
・校舎が高層階や体育館になるのは安全性に不安を感じる。
・校舎（高さ）やグラウンド（共用）の計画に無理があり鞍手中（統合小）の運営に影響が大きい。
・高層になると、後々色々な問題が増えてくると思う。
・建物が高くなる為、安全面に不安
・運動場が中学校と共有になるため危険
・運動場に行くのに道路を渡るので危険
・中学校からの悪影響があるので？
・グラウンドの共用、道路の横断、５階建以上など、課題が多い（学びの環境・安全面）。
・お互いの教育活動へ支障をきたすことも懸念される。
・土地が狭すぎる。→コスト差額で土地を広げられないか？
・スクールバスなどの環境は整っているが工事中の児童の安全、騒音などが懸念される。
・５階以上の校舎はとても考えにくく、無採光になる部屋や高層化する事に対する安全確保の工夫や仕組みが必要だと思う。より高度な設計を組む事ができれば、現実味がでてくると思う。

■剣南小学校敷地

相応しい点・評価した点

・一番、良いと思います。中学校に近い点、スクールバスの利用にも向いているのではないかと思います。建設の際には、剣南小の児童の安全と教育活動への配慮は不可欠だと思います。
・校舎が鞍手中敷地活用に比べ高層階にならず安心
・保育所、小・中学校、中央公民館が隣接し、施設の併用・活用が便利
・通学路や通学方法に課題が少ない。
・小学生と中学生の兄弟がいる場合、一緒にスクールバスで通学できると不安の解消と顔なじみが増えて良い。
・この３つの候補では、一番条件が良い。出入場所がどうなるのか（全体像が解らないが）。
・候補地の中では一番現実的だと思う。「工期が長い」事が悪い事ばかりでなく、子どもたちの心の準備期間が十分にとれるという面もあると思う。一番の心配ごとであった費用面も補填ができるようであるし、工事中の安全面等はどうにでも工夫が可能だと考える。

改善すべき点・懸念する点

・すでに 300 名分の建物がある為、400 名の補助しか出ないし、子どもたちがいる中での工事は不安
・敷地が狭い
・校舎建設中の安全面等が気になる。
・工事中に子どもたちへの影響が気になる。
・既存校舎を利用すれば、まず工事車両の搬入口に充分な安全を確保する、バス路線あるいは隣接に保育所等がある。工事施工中における通学路の変更があるのでは。一番必要なのは安全面である。
・学童と給食センターまで建てられる土地と駐車場の確保が難しい。
・工事中の剣南小の児童の学びの保障に課題が大きい。
・体育館を１階にして、敷地を広げるとよいのでは。
・鞍手中学校に近く、通学などの環境は整っているが、「鞍手中学校敷地」と同じく、工事中の安全、騒音、さらにグラウンド、プールへの移動などの問題が懸念される。
・二番目には、剣南小が良いと思いますが、建築中の剣南小児童のことを考えると、移動などが何度かになるように思われます。工程がスムーズに行われるのであれば、立地としては良いと思います。

■旧鞍手北中学校敷地

相応しい点・評価した点

・敷地が広く校舎も平屋で検討していいなと思う。
・空き校舎のため工事での心配がないところは良い。
・この３ヶ所の中で言えば、すべてにおいて理想的だと思う。通学路の老朽化や安全面について、問題が出ていたが改善すれば小学生だけでなく他の町民も安全に通行することが出来るし、早くそうなってほしい。
・50 年、100 年後を考えた時に、敷地が広いので今後何かの施設が増設が可能
・鞍手町の中心に近い為、利便性が良い。
・坑道は、石炭があまりでなかったため、浅いという話を聞いた。坑道の整備、出入口を反対側産業道路側に確保する工事をすれば条件として、一番よい。炭坑跡地に関する整備に補助金があるのではないか。
・できるところから、即、整備工事ができる。
・旧炭鉱地坑道対策の点、説明で理解できた。
・第一に児童がいない。十分な敷地内がある。坑道の問題はあると思うが、対策出来るのであればいいと思います。立地的にもスクールバスを利用せずに通学できる児童も多いと思います。

改善すべき点・懸念する点

・建設に関しては一番、他への影響がないように思います。通学・地下の件を併せて考える場合、費用でも時間でも負担が大きすぎるのではないかと思います。
・下が空洞の為、そこに建てるのは不安
・居住誘導地域のため、住宅地として活用してほしい。
・現在、グランドを折尾愛真が使っているが、近隣に盗難自転車が放置されていて、空き校舎を早急に別用途に使用し、折尾愛真を退去させてほしい。
・坑道対策など、＋αの課題あり（コスト上昇等）
・敷地内の工事は安易と思われる。候補地となれば周辺道路の整備・炭坑跡の炭坑閉鎖処理等学校整備費が増大となる。
・旧鞍手北中跡においては、立地やスペースは最適と思いますが、坑道跡で、現在も陥没が見られると聞いています。小学校敷地には最適ではないと考えています。但し、この問題が解決できれば問題がないと思います。
・坑道対策が必要というが、どれほどのものなのか全くイメージもつかない事、通学路整備も大規模で現実的に考えにくい。詳細を詰めたところで、費用がネックになってくると思う。

■全ての候補地

・候補地が決まれば再度建設計画を見直す必要あり。
・比較表を拝見し、それぞれの候補地に長所、短所があるが、総合的に考えると鞍手中学校敷地内が良いと思われる。
・子どもたちはもちろん、そこに働く教職員達にも安全、安心で、利便性の高いものになって欲しい。
・候補地は、ある程度住宅密集地に位置するので安全対策に十分配慮しておかなければいけない。
・鞍手町のコンパクトシティ構想が基盤にあり、利便性から候補地を絞っている。本来、学校は子どもが育つ学び舎であり、ゆとりある土地環境、安全面を第一に選んでほしい。予算が高くなったとしても、長期的に見て土地の整備、出入口の整備をして建設してほしい。
・給食センターを入れると、「鞍手中学校敷地」「剣南小学校敷地」共に狭く、駐車場の確保が難しい。「鞍手中学校敷地」「剣南小学校敷地」になった場合、別の場所を考えてはどうだろうか？
・学びの場としての設備や環境も大切でしょうが児童や教員等の安心安全を一番に考えていただける（人や車の動線等も含めた）計画にしていただければと思います。
・子どもだけの通学が基本だとしても、様々な理由で保護者の送迎が必要な場面は考えているよりも多く、近隣に迷惑をかけないように、車送迎の場所（仕組み）は必要だと思う。中山の道は役場も近くにできるし、今以上に混むと思うので、事前調査は十分にすべきと考える。